

令和 7 年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書 (P)	部局名	都市整備部
水道事業会計	-	課 名	水道課

I : 事業概要

施策事業名	水道事業 収益的収支事業
事業目的	水道使用者に安心・安全な水道水を安定供給する。
事業内容	●全体計画 ・市内全域に対し水道水を配水する。 ●主な事業内容 ○原水及び浄水費 681,131,982円 ・主に水道水の製造等に要する費用及び浄水場等の維持管理費 ・県営水道受水費、浄水場運転管理業務委託 等 ○配水及び給水費 98,263,288円 ・主に水道管等の維持管理費 ・給配水管等修繕、量水器取替業務委託 等 ○受託工事費 2,637,800円 ・主に消火栓等修繕、下水道関連切廻し工事 等 ○総係費 152,075,256円 ・主に料金調定・徴収及び一般事務費 ・料金徴収業務等委託 等 ○減価償却費 353,513,605円 ・固定資産減価償却費 ○資産減耗費 63,492,250円 ・主に固定資産除却費 等 ○営業外費用 74,545円 ・その他雑支出 ○特別損失 331,104円 ・過年度損益修正損
事業の成果・効果	水道水を市内全域 32,264 戸に対し、年間約 885 万立方メートルを給水した。 水道使用者に安全で良質な水道水を安定的に供給できるように、浄水場施設や水道管の維持管理をおこなった。 犬山市水道事業経営戦略検討委員会を通して現在の水道料金の料金体系について検討を行なった。

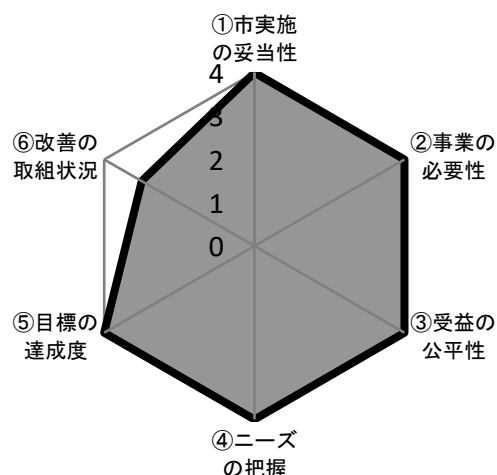
II : 個別事業内訳 (単位：千円) (総点検進捗評価は 4 段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
原水及び浄水費	681,132	681,132	0	0%	4	3	3
配水及び給水費	98,263	98,263	0	0%	3	3	3
受託工事費	2,638	2,638	0	0%	4	2	3
総係費	152,075	152,075	0	0%	3	3	3
減価償却費	353,514	353,514	0	0%	4	2	4
資産減耗費	63,492	63,492	0	0%	4	2	4
消費税・過年度損益修正損・予備費等	406	406	0	0%	4	2	4
合計	1,351,520	1,351,520	0	0%	3	2	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R6決算	R7決算	R8予算
		1,250,098	1,351,520	1,428,244
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1,250,098	1,351,520	1,428,244
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	水道法第6条により市で実施。
②事業の必要性	4	市民の生活に欠かせない水を供給する事業であり、継続実施が必須の事業である。
③受益の公平性	4	ほぼすべての市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	4	市民が生活を営む上で必ず必要で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	年間を通じ安定した給水に努めた。配水量は予定水量比99.6%で、収入は予算比100.6%となった。有収率は前年実績を0.1%を上回った。
⑥改善の取組状況	3	犬山市水道事業経営戦略検討委員会を通して現在の水道料金の料金体系について検討を行なった。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和7年度に見直しを実施した事項	犬山市水道事業の現状および課題を把握し、より詳細な財政の見通しを検討し、犬山市水道事業経営戦略検討委員会を通して現在の水道料金の料金体系について検討を行なった。
令和8年度に見直しを実施している事項	・令和7年度に実施した犬山市水道事業経営戦略検討委員会の検討結果をもとに、経営戦略の中間見直しを行い、水道料金の改定を実施する。 ・水道使用者の利便性向上のため、水道料金のキャッシュレス決済の導入を検討する。
今後見直しを検討する事項	引き続き犬山市水道事業の現状および課題を把握し、財政の見通しを検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和7年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
・節水や人口減少の傾向により、家事用の給水収益が減少していくことが見込まれる。 ・県営水道の料金改定等による費用の増加が見込まれる。 ・常に安定した給水を行うため、管路及び浄水施設の維持修繕を行う必要がある。 ・有収率を向上させる必要がある。	・事業所における水道料金の収入確保に努める。 ・犬山市水道事業経営戦略検討委員会の検討結果をもとに、経営戦略の中間見直しを行い、水道料金の改定を実施する。 ・漏水箇所の早期発見と浄水施設の適切な維持補修を行い、安全安心な水道水を安定的に供給していく。 ・年度ごとに有収率の具体的数値目標を定め、達成度管理を行なう。 ・実績値を上限として総人件費の抑制を行なう。

令和 7 年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書 (P)	部局名	都市整備部
水道事業会計	-	課 名	水道課

I：事業概要

施策事業名	水道事業 資本的収支事業
事業目的	水道使用者に安心・安全な水道水を安定的に供給し、また、災害時においても安定して給水ができるよう改修等を実施する。
事業内容	●全体計画 ・市内に張り巡らされた水道管及び浄配水施設の耐震化も含め設備更新等を実施 ●主な事業内容 ○施設増補改良費 675,250,810円 ・主に配水管布設替及び浄配水施設の更新・改良 ・配水管布設替工事 犬山四日市（下水関連）L＝約800m 長者町団地 L＝約650m 善師野郷戸 L＝約430m 他市内各所で布設替を実施 ・消火栓設置工事 ・給水申込関連布設工事 ・犬山配水場2号揚水ポンプ更新工事 ・四季の丘加圧所送水ポンプ更新工事 等 ○営業設備費 1,028,410円 ・主に量水器等の機械装置購入 等
事業の 成果・効果	配水管等改良事業においては、犬山四日市、長者町団地をはじめとした市内各所で配水管の布設替及び布設工事を実施した。 配水管等の改良延長は、約4.2キロメートル実施した。 配水管等の布設替及び布設工事にあたっては、耐震性のある管材を使用し、耐震化を図った。 浄配水施設においては、犬山配水場揚水ポンプ更新工事等を実施した。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (総点検進捗評価は4段階)

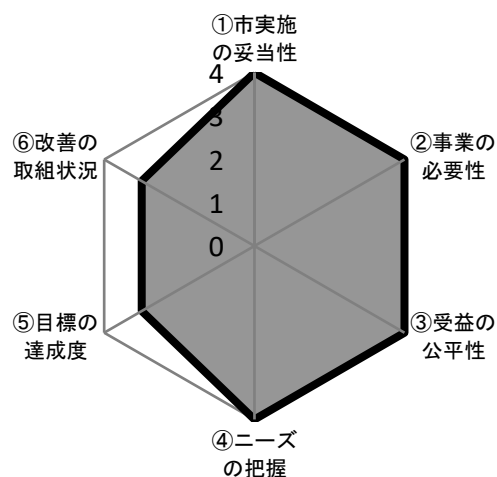
事業名	決算額	財源内訳		一般財源 の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信 ・共有化	業務適正化
施設増補改良費	675,251	675,251	0	0%	3	3	3
営業設備費	1,028	1,028	0	0%	4	2	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	676,279	676,279	0	0%	3	2	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R6決算	R7決算	R8予算
		632,736	676,279	522,141
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	632,736	676,279	522,141
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	水道法第6条により市で実施。
②事業の必要性	4	市民の生活に欠かせない水を供給する事業であり、継続実施が必須の事業である。
③受益の公平性	4	ほぼすべての市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	4	市民が生活を営む上で必ず必要で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	3	配水管等の改良延長については、約4.2kmの実績となった。
⑥改善の取組状況	3	浄配水施設においては、犬山配水場揚水ポンプ更新工事等を行なった。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和7年度に見直しを実施した事項	・管路更新計画に基づき、重要箇所の布設替を進め、配水管網の健全性を維持して水道水の安定供給に努めた。 ・浄配水施設においては、犬山配水場揚水ポンプ更新工事等を行なった。
令和8年度に見直しを実施している事項	漏水調査等による重点箇所のほか、引き続き重要箇所の布設替を進め、配水管網の健全性を維持して水道水の安定供給に努める。
今後見直しを検討する事項	引き続き自己水系の有効活用を図るため、給水区域の見直しを検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和7年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
節水や人口減少の傾向により、家事用の給水収益が減少していくことが見込まれる一方で、常に安定した給水が行えるようにするためには、管路及び浄配水施設の更新を継続して行う必要がある。	将来の水需要の動向等を踏まえた水道施設等の整備計画(基本計画)に基づく経営戦略の改訂を行い、毎年継続的な更新投資を行い、市民に安全安心な水道水を安定的に供給していく。